

国士舘大学大学院入学試験問題用紙

修士課程

一般選考

研究科	専攻	試験科目	参考書等持込
政治学研究科	政治学専攻	公共政策学	不可(留学生のみ語学辞書可)

【問題】 公共政策に関する以下の2問のうち、1問を選んで 600字程度で解答しなさい。

1. 日本では、少子高齢化、人口減少社会をむかえ、地方自治体の財政状況がますます厳しくなっている。こうした状況のなかで、地域社会を持続可能にするために、行政だけでなく多様な主体（アクター）が活動している。そのなかでも、ソーシャル・ビジネス、コミュニティ・ビジネス、ソーシャル・エンタープライズ、ソーシャル・アントレプレナーなどと称される、従来の枠組みでは十分に説明できない新しいかたちの社会的貢献活動が注目されている。

これらの活動は、地域の課題解決においてどのような役割を果たすべきか。理論的な枠組み（考え方のモデル）や具体的な事例を挙げながら、あなたの考えを論述しなさい。

2. 修士課程で研究したい政策分野は何か。具体的な政策領域を挙げたうえで、それを研究する目的や方法について述べなさい。

令和8年度 国士舘大学大学院入学試験

出題の意図と採点のポイント

研究科名	政治学研究科 政治学専攻
試験期別	I期
試験区分	一般、社会人、留学生、学内選考
試験科目名	公共政策学

■出題の意図

1. の問題の出題意図は、次の4点を挙げるができる。(1) 社会課題への理解力の確認をすること、(2) 理論と実践の統合力の確認をすること、(3) 批判的な思考力や独自性を持っているかどうかを確認すること、(4) 論述・構成力を確認することである。

(1) は、少子高齢化・人口減少・地方財政の逼迫といった現代日本の構造的課題を把握しているかなどの確認である。(2) は、ソーシャル・アントレプレナーなどの概念を理解して、理論的枠組み（例えば、ネットワーク・ガバナンスやソーシャル・キャピタルなど）を適切に適用できているかなどの確認である。(3) は、既存の枠組みや事例を踏まえつつ、自分なりの見解や独自性を提示できるかなどの確認である。(4) は、序論・本論・結論の構成が明確で、論理の流れが一貫しているかなどの確認である。

2. の問題の出題意図としては、次の4点を挙げるができる。それは、(1) 研究テーマの設定力の確認をすること、(2) 研究目的の明確化ができているかの確認をすること、(3) 研究方法の理解と適応力の確認をすること、(4) 論述・構成力を確認すること、である。

(1) は、自らの関心分野を明確に特定し、具体的な政策領域として提示できているかなどの確認である。(2) は、なぜその政策分野を研究するのか、背景や問題意識を論理的に説明できるかの確認である。(3) は、適切な研究方法（文献調査や事例分析など）を選び、その理由を説明できるかの確認である。(4) は、序論・本論・結論の構成が明確で、論理の流れが一貫しているかなどの確認である。

■採点のポイント

1. の問題の採点のポイントは、理論と事例のバランスがとれているか、教科書的な説明で終わらずに、自分なりの視点が持てているか、論理の一貫性があるかどうかなどである。具体的には、(1) 課題の理解、(2) 理論的枠組みの活用、(3) 具体的な事例の提示、(4) 独自の見解や批判的な考察、(5) 論理構成と表現力、の5点である。

2. の問題の採点のポイントは、「なぜその政策分野なのか」が明確かどうか、研究目的と方法が論理的に結びついているか、単なる関心の表明でなく、社会的意義が説

明されているかなどである。具体的には、(1) テーマの具体性と適切さ、(2) 研究目的の明確さ、(3) 研究方法の妥当性、(4) 論述構成と表現力、(5) 独自性と発展性、の5点である。